

榮助さん

2017 年 5 月 26 日 ひたちなか市 廣瀬博

茨城県ひたちなか市に日本ベテランテニス愛好会(JVTS)というテニスクラブがあります。この会の創設者は菊池榮助さんですが、2016 年 11 月 28 日にお亡くなりになりました。お別れ会には多くの JVTS 関係者が集まり、お見送りをしました。後日、榮助さんの御長男菊池裕さんから以下のような相談がありました。父のアパートを整理しているとき、テニス関係のトロフィーなどが見つかったが、これをどのように処分したらよいか。JVTS のコートハウスに展示するものがあれば、展示しその他のものは廃棄するという内容でした。私は JVTS のコートハウスは中島家個人のものであるため、展示は好感されないと思い、私が写真などに収めて記録した後に処分しても良いのであれば、私のところに持ってきてくださいとお願いしました。

図 1 がこの時に預かったものです。全部で 8 点ありますが、これらを年代順に示すと下記のようになります。これらに関連する記事は大抵ベテランテニス愛好会報に有りましたが、⑧の第 25 回佐世保シニアオープンテニス大会、功労賞(23 年 5 月 12-13 日)寄贈:TVS テレビ佐世保(2011 年)は内容を照査することはできませんでした。

- ① 賞 JVTS 1992 年
- ② FRIENDLY GAME JAPAN VETERAN TENNIS SOCIETY(JVTS)-INDONESIAN TENNIS ASSOCIATION(PELTI) SOLO JUNE 20 1993
- ③ 第四回松戸市シルバーテニス大会 B 優勝 贈 松戸市長(1998 年 5 月)
- ④ 最高齢者賞 第 13 回全国健康福祉祭大阪大会 ねんりんピック 2000 大阪 テニス交流大会
- ⑤ FRIENDRY GAMES PELTI Vs COSMO TENNIS CLUB JAPAN V.T.S. Jakarta,27 june 2001 solo,29 june 2001
- ⑥ FRIENDLY GAMES PELTI Vs COSMO TENNIS CLUB JAPAN V.T.S Jakarta,1 july 2004
- ⑦ 第 10 回熊本大会 皆勤賞 07.11.15 JSTA 熊本県連盟(2007)
- ⑧ 第 25 回佐世保シニアオープンテニス大会、功労賞(23 年 5 月 12-13 日)寄贈:TVS テレビ佐世保(2011 年)



図 1 榮助さんの獲得したテニス関連トロフィーなど(8 点)

① 賞 JVTS 1992 年



図 2 ①賞 JVTS

図 2 のトロフィーは 1992 年 11 月に第 1 回ベテランテニス大会の時の参加賞で、この時榮助さんはコートオーナーの中島正周さんの奥方:中島愛子さんとペアで参加し、1 回戦敗退しています。トロフィーは 3 位までと 3 位以下の方にも図のようなトロフィーが渡されました。記念すべき JVTS 初めての大会のトロフィーです。中島さんは、このように、全員にトロフィーを渡して、初期のテニス界の発展に務めました。

② FRIENDLY GAME JAPAN VETERAN TENNIS SOCIETY(JVTS)-INDONESIAN
TENNIS ASSOCIATION(PELTI) SOLO JUNE 20 1993



図 3 ② インドネシア国際親善テニスツアー記念盾

図 3 は次に古い 1993 年の刻印がある JVTS-インドネシア親善大会の盾を示します。記録によりますと、1993 年には第 3 回インドネシア国際親善テニスツアーが開催されています。ところが、この記録では榮助さんは参加していません。ベテランテニス愛好会報 12 号によると、榮助さんは頭の手術のため、このツアーには参加していませんが、中島ツアー名誉団長の計らいで、残留の会員にもお土産として持ってきてくれたようです。ここでも中島さんの会を発展させるための、思いやりがうかがえます。榮助さんは第 2 回のツアーに参加しましたが、3 回～7 回まで、5 回のツアーに参加していません。

③ 第四回松戸市シルバーテニス大会 B 優勝 贈 松戸市長(1997 年 5 月)



図 4 第四回松戸市シルバーテニス大会 B 優勝

図 4 は松戸市シルバーテニス大会 B 優勝カップを示します。この大会は松戸市の男子 65 歳以上、女子 55 歳以上の大会ですが、近県のシニアも松戸市のメンバーとペア(抽選)を組んで出られる大会です。榮助さんは B クラスで松戸の長老(名前は書いてない)と組んで優勝し

ています。ベテランテニス愛好会報(63号)。実際に図のカップを頂いたのは次回大会時(1998年ベテランテニス愛好会報 76号)のようです。このカップは榮助さんが大会で勝ってもらった唯一のもので大変貴重なものです。

④ 最高齢者賞 第13回全国健康福祉祭大阪大会 ねんりんピック 2000 大阪 テニス交流大会

図5はねんりんピック 2000 大阪の最高齢者賞を示します。



図5 ねんりんピック大阪最高齢者賞

この時期榮助さんは茨城県シニアテニス連盟(ISTA)の事務局長の職にありました。ISTAの理事の選出は、当時、全会員の投票で行われており、2000年では中島会長が高齢を理由に勇退し久保田護さんが会長に選任されています。

ねんりんピックの選手推薦は茨城県シニアテニス協会(IBTA)を通じ県の ”わくわく財団” から ISTA に依頼があり、レークサイドくさぎきで実施したようです。(日本ベテランテニス愛好会報 99-105号) 参加選手は、選考会参加者の中から、この年は県央・県北から選ぶことに決まり、次の方が選ばれています。

監督兼選手:菊池榮助 選手:高島教一郎、千葉淳治、寺澤義雄、佐藤賢二、大貫和彦、久保春江、志田田鶴子

試合結果は大健闘で、予選リーグを3位で進み決勝トーナメントでは、宮城県、長崎県を下し準決勝で京都に惜敗し3位(銅メダル)を獲得しました。さらにこの大会に監督兼選手として参加した榮助さんは最高齢選手賞を獲得しました。ベテランテニス愛好会報 105号によると、まだ弱冠 77 歳の若さと思っているのに思いもかけず最高齢選手として表彰されたと書いてあります。またこのときの選手で高島さんと寺澤さんは、ベテランテニス愛好会報 創立 20 周年記念特集号のエッセイにおいて、この大会を忘れられない思い出として記述されています。

榮助さんのこの大会での功績は彼のテニス生活の中でも、かなり大きなものであったと思います。

⑤ FRIENDLY GAMES PELTI Vs COSMO TENNIS CLUB JAPAN V.T.S. Jakarta,27
june 2001 solo,29 june 2001



図 6 第 10 回 インドネシア国際親善テニスツアー

図 6 は第 10 回インドネシア国際親善テニスツアーのときの記念プレートです。10 回目の記念大会と言うことで、現地の出迎えは、政府観光省はじめ関係省の次官、係長、日本の公使なども迎えて親善夕食会が行われたり、サルタン(国王)専用テニスコートで王様の侍臣(王様は公用出張中)たちとプレーを楽しんだり、特別の接待を受けています。またこのツアーには 19 名参加していますが、JVTS 関係者は中島さん久保田さん他 鴈野さん、清水さん、寺澤さん、佐藤賢二さん榮助さんが参加しています。(ベテランテニス愛好会報 112 号)

⑥ FRIENDLY GAMES PELTI Vs COSMO TENNIS CLUB JAPAN V.T.S Jakarta,1
july 2004



図 7 第 12 回 インドネシア国際親善テニスツアー

図 7 は第 12 回インドネシア国際親善テニスツアーのときのプレートです。このツアーにはいつもの中島団長、久保田副団長の他 JVTS 関係から榮助さん、鴈野さん清水さんが参加しています。ベテランテニス愛好会報 148 号にはツアーに参加するので、JVTS 例会の記事

は書けないとあります。但しその後のツアーの様子は会報に無いので、ツアーはいつもの通り、楽しく、問題もなく、出来たものと推察されます。

⑦ 第 10 回熊本大会 皆勤賞 07.11.15 JSTA 熊本県連盟(2007)



図⑧ 第 10 回 熊本大会 皆勤賞

熊本大会は JVTs 創設のころ会員であった角田安雄さんが茨城県の職場をリタイアして故郷の熊本に帰られ、立ち上げた大会のようです。榮助さんは自身が熊本県出身であること、会の立ち上げを進言していたことなどの関係から、初回から招待が届き参加を続けています。このトロフィーは第 1 回から 10 回まで連続して参加した時に頂いたものです。(ベテランテニス愛好会報 189 号,237 号)角田さんの JVTs 参加記録はベテランテニス愛好会報によると 1992 年に 3 回,1993 年に 2 回合計 5 回参加しています。

⑧ 第 25 回佐世保シニアオープンテニス大会、功労賞(23 年 5 月 12-13 日)寄贈:TVS テレビ佐世保(2011 年)



図⑨第 25 回佐世保シニアオープンテニス大会、功労賞

このトロフィーについての記録は見つかりませんでした。23年5月は東日本大震災後で混乱していた時期なので、榮助さんも会報などに書かなかったかもしれません。なにしろまだTVなどではコマーシャルも流れずに、復興支援ソング「花は咲く」などが流れ続けていた時でした。

以上預かったトロフィーなどの写真による記録と関連する内容について纏めました。天国の榮助さんに送ります。内容が間違っていたらごめんなさい。預かったトロフィーなどは廃棄しようと思っていましたが、この文章を書いたことで、愛着が出てきたので、しばらく私の倉庫に置いておきます。

最後に、榮助さんに対してお詫びすべきことが残っていたので、ここでお詫びします。そのことは、お別れ会の時の私のパワーポイントには入れてあったのですか、その時には開けることが出来ずに終わってしまいました。

2014年12月7日に中島家からご厚意により、1990年製のマタタビ酒がコートハウスに運ばれました。もちろんお酒好きの榮助さんのためのものですが、榮助さんはこれを大量に、その場で飲んでしまいました。酩酊状態で帰るというので、私と川崎さんで車ごとアパートに届けました。

このこと以来、JVTS会員の中には、榮助さんが、例会中に、いつも、かくして飲んでいて、ドリンク(ウイスキー入り紅茶?)を糾弾する動きが強くなりました。私は乗り気ではなかったので、責任感の強い幹事は(私を無視して)皆に声掛けして糾弾することとしました。まず榮助さんのいつものドリンクにお酒が入っていることを認めさせました。次にもうコートで飲まないことを約束させました。次に約束したのであれば今持っているドリンクは捨てなさいと言って捨てさせました。道路交通法上彼らは正しい行いをしているのですが、私は榮助さんの心情を理解している心算なので消極的でした。ドリンクを捨てる時、榮助さんの顔は真っ赤でした。私は思わず「榮助さんは偉い」と言ってしまいました。

その後12月はコートに来ましたが2015年の初打ち会は現れませんでした(これまでほとんど欠席したことはない)。その後4回程例会に参加していますが、1月18日には日赤に入院し、私がお見舞いに伺った時には会話はできませんでした。血管障害はストレスが大きく影響します。真実は判りませんが、私たちが起こした行動が、100万時間を目指していた寿命を短くしてしまったのではないかと考えています。それではどうしたら良かったのかと言われても、私には解がありません。そののところを一番お詫びしたいと思っています。

2017年5月26日 ひたちなか市 廣瀬博

お詫び(木天蓼^(またたび)酒事件)

- 2014年12月7日 木天蓼酒(1990年製)
 - 川崎、廣瀬(強制代行運転で帰宅)
- 2014年12月10日
 - ドリンク糾弾(持参してきたドリンクを捨てさせた)
- この件以来元気が無くなったように思う。長年一人暮らしのさびしさから、お酒の量がかさむのは、仕方がないが、道路交通法で連帯責任があるための対応だった。榮助さんの心情と法律を両立させる策を考えられなかったことを申し訳なく思う。このことを話そうとしたときには、榮助さんは、意思が通じなかった。話す前に無くなってしまった。ここでお詫びします。

榮助さんを送る会の時用意したが使わなかったパワーポイント